

青い目の人形～リトルメリーと仲間たち ‘日米親善人形交流と島原’展 2025

先人から、今を生きる私達へ伝えられた大切な心の宝物をみつめてみませんか



青い目の人形「リトルメリー」（島原市指定文化財）

昭和2年、日米関係が悪化した時代、「世界の平和は子どもから」と日米の子どもたちの友好を願い、アメリカの子どもたちから日本の子どもたちへ贈られてきた12,700体の青い目の人形たち。その願いも叶わず、戦争がはじまり、敵国の人形として焼かれたり壊されたりしてしまいました。

現在は全国に約300体、長崎県では2体しか残っていません。

「リトルメリー」はその中の貴重な1体で、お雛さまの箱の中にこっそり隠されていました。

そして現在も島原第一小学校で大切に保管され「平和の使者」として‘心のありかた’について語りかけています。

2015年（平成27年）の12月には、その貴重な存在としての使命が認められ、島原市の宝物として活躍できるよう島原市指定文化財に指定されました。今年も「リトルメリー」が時を越えて友好親善の心を伝えます。

青い目の人形のお礼に日本の子ども達からは日本人形58体が贈られました。長崎代表の答礼人形「長崎瓊子」は行方不明となっていました。ニューヨーク州ロチェスター市科学博物館に保管されていたことがわかり、2003年の春、75年ぶりに里帰りし、桜満開の島原城を会場に行われた島原展には6日間で約7千人の皆様にご来場いただきました。戦火を生き延びた、島原第一小学校に残る「青い目の人形ーリトルメリー」と答礼人形「長崎瓊子」が揃って一般公開された、感動的な里帰り展。それから毎年、島原では平和の使者‘リトルメリー’を島原の宝物として毎年島原城で一般公開。またその後島原に贈られた新友情人形6体も1年に1度リトルメリーと共に島原城に集合します。



答礼人形 長崎瓊子

島原親善人形の会では、島原における日米親善人形交流の歴史と意義を
貴重な資料と共に語り継ぎます。

* 日時 / 令和7年3月21日(金) ~ 4月6日(日)

午前9時~午後5時30分(最終日 午後3時)

* 会場 / 島原城観光復興記念館 * 入場無料

* 主催・お問い合わせ / 島原親善人形の会 <0957-64-4300> 島原市亀の甲町乙1650-4 自由空間きた田内

* 共催 / 株式会社 島原観光ビューロー

* 後援 / 島原市・島原市教育委員会・島原文化連盟・島原新聞社・カボチャテレビ・ひまわりテレビ・FMしまばら・FMひまわり

「青い目の人形～リトルメリーと仲間たち」

春の島原城に日米親善人形たちが集います



アンナ
(島原一小)



ジョアンナ
(島原三小)



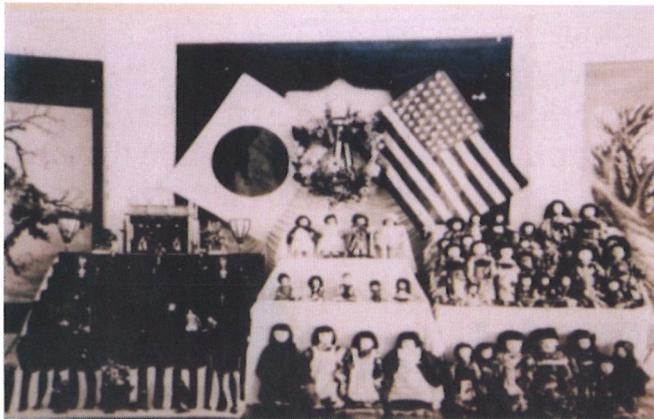
アップパイウエンティー ラツガティーアン・
アンティー
(ひかわ第一幼稚園)



ベツツイー
(島原一小)

<青い目の人形～リトルメリー～の歓迎式>

<答礼人形～ミス長崎「長崎瓊子」～の送別式>



昭和2年5月18日島原中学校講堂・青い目の人形の歓迎式の写真



昭和2年10月11日島原中学校講堂・「長崎瓊子」の送別式の写真

「星の国からようこそいらっしゃいました。仲良くいたしましょう」と、島原の子どもたちは青い目の人形を歓迎しました。1927(昭和2)年5月18日島原中学校講堂で、島原町3つの小学校と2つの幼稚園の子どもの合同歓迎の式が開かれました。また答礼人形として、ミス長崎・長崎瓊子がアメリカへ出発するお別れの会が、10月11日に同じように行われました。この人形の交流の取り組みは、まず子どもたちの心に友好の花を育て、大人にも親善の気持ちを深めようと、アメリカのギューリック博士が提案したものです。

早速アメリカから1万2000体、日本から58体の人形が太平洋を渡りました。その中の一つが島原一小のメリーちゃん、アメリカへ渡った「ミス長崎」長崎瓊子です。

しかし不幸な戦争の時代を迎えました。

人形といえども敵国人だと、処分されましたが、メリーちゃんは奇跡的に生き延びました。

そして答礼人形のミス長崎「長崎瓊子」も無事でした。

2つの人形は2003年に再会して、改めて日米両国の親善に大きな役割を果たしたことを私達に教えました。

春うらら発表会

日時/令和7年3月29日(土)午前10時半～11時半

会場/島原城観光復興記念館

内容

- ・紙芝居の上演「リトルメリーものがたり」
島原第一小学校4年生代表のみなさん
- ・春を外国語で歌おう会
(しまばら半島国際交流クラブ)

紙芝居

「リトルメリー
ものがたり」

会場でDVD上映中

リトルメリー
ものがたり

